

1 トヲシク4 オジヤン、イジワルしてもいい?

右耳近づく

( akr\_0280) あかこ「 オジヤス……オジヤン、田を開けて。  
オジヤス……オジヤス……」

正面近く

( akr\_0281) あかこ「 .....あ.....よかひだ。急に動かなくなつたやつたから.....  
何かあひたのかと思つて.....」

( akr\_0282) あかこ「 .....シハーフモハ.....オジヤン、すいい疲れた顔してね.....  
働いてた頃とこへしめ.....いつも夜遅くに帰つてしまい、  
今みたいな顔してた.....」

右耳近く

( akr\_0283) あかこ「 パ.....ミードオジヤンの帰りを見つたかつて? やれば.....  
なつしゅ.....ども、オジヤンの「」ならなんでもわかるよ」

( akr\_0284) あかこ「 疲れしのせ.....あかりが毎日、  
オジヤンのおかんに触つてゐるからだよね.....  
あ、触つてゐるせばから触つちやつてる.....」

右耳離れる

( akr\_0285) あかこ「 なんか.....オジヤンのおかんに触つてゐるが、お心つて.....  
柔らかいときもぶいぶいつてかわじらし、硬くなつてくれたら嬉しいし、一日中触つても飽きないの」

( akr\_0286) あかこ「 ふふり、少し硬くなつてた.....おジヤンのおかんは.....  
まだ柔らかいからおちんちんかな?」  
「ね、ほんとかわいし.....あかり、だよさき.....」

( akr\_0287) あかこ「 実は、おジヤンが寝てゐる間もひやり触つてゐるが、  
いつもやつて握つてなごと.....お手々が寂しく感じるのは.....」

( akr\_0288) あかこ「 あかり、もうおジヤンのおかんなんじや  
生きていけないみたい.....ども、そのせいでおジヤンが  
疲れちゃうのは困る.....」

( akr\_0289) あかこ「 あかりがおひいきしてゐるのが懸いのかな?」

( akr\_0290) あかこ「 毎回、おひいきの前におかんにさかづいて  
おじやんのがじかない気がするの.....  
おじやん、白いネバネバのを出したあと、こうしておひいきだつ  
てしまふ.....」

右耳壁（前ページから継続）

( akr\_0291) あかこ「 せど、やつこねじさんをやせで抜いてるね、  
あからず」「 幸せな気持ちになるんだよ。  
おじさん、その時だけはあかりを必勝ヒントしてくれる  
ってわかるか?」

( akr\_0292) あかこ「 われどね、もう必勝ヒントだくし……  
最近は、一回のねじで2度も3度もひまひまひまひ  
わせわせやひてる……」

( akr\_0293) あかこ「 ねじねじが頑張って丑うしくれるから、あかりも嬉しい……  
お詫びしたが、まだ丑うし見たくないわやつだ……」

( akr\_0294) あかこ「 ……平気だよ。少しやましさど、  
ねじさんが元気になれるおじんぼのひまひまひま  
我慢する……働いてる時より疲れちゃつたら、あかりが  
じいじく来た意味がなくなつたやつもん……」

( akr\_0295) あかこ「 あかりね、ねじねじには尋ねになつてせしこの……  
悲しい思ひとか、シラシ略ことかしてせしこの……」

( akr\_0296) あかこ「 ねじねじ城付いてなかつたと思ひけど、働いて夜中に  
あかりの前を運ぶとねじうつもたぬ息をついてたんだよ?」

( akr\_0297) あかこ「 そんな姿を見つだら、放つてお土なくなつて……  
それで勇気を丑うし、じいじく来てみたの……」

( akr\_0298) あかこ「 ……それじ、ねじねじの子供の頃から知つてゐるよ。  
ずっとずつとずつとねじねじがねじねじやない頃から、  
あからせ見つめられたの……」

( akr\_0299) あかこ「 だから、ねじねじが優しい人だつてじうのも知つてる……  
今だつて……もしあかりがおちんぽからひまひまするの  
見せてつて頼んだら……がんばつてくれるやつよつて。」

( akr\_0300) あかこ「 ねじねじがんばつわせわせやつかふ、  
働くのも手を抜けなかつたんだよね……ねじねじのやつが、  
じいじねじく素敵だと思つて……」

( akr\_0301) あかこ「 ……われに由ゆで、あかり調子に乗つ過かれてやつた。  
今せ反省してるの……ほんとだよ?」

( akr\_0302) あかこ「 あかりは、おじさんの疲れてる顔は見たくなじかふ……  
「れからせ、おちんぽからひまひましたくない時は、  
正直に言つてね?」

( akr\_0303) あかこ「 あかりだつて、我慢できる……」「やがてひくつてひくつて  
だけで……心がほかほかするか?」

正面近く

( akr\_0305 ) あから「…………やべ、おじやくさん、あからおわんぱく」クハ1クノ跳ねて  
るやべ、また触りたくないわやつからダメ……おちんぽ、  
じいヒートで……」

( akr\_0306) ねかり「 ちゅう .....ん、ちゅう、ちゅう .....んんーーー！ ねじねく、  
おちんぱダメだつてばあ .....今度はあかりの太もも！、  
びたんびたんしてる.....」

( akr\_0307 ) あから「あ……でも寝起きだから、おじいちゃんがいる  
毎朝、いりぱい出でるもんね……おじいちゃんが  
白いひゅりひゅり……」

( akr\_0308) あかり「あとで一緒に丑い顔」「うね……あかり、おじさんにおじい」としてみると「おじい」を見るのが好きだから……」

( akr\_0309 ) めから「ふふふ……まだおねむみたいだね……今日は僕んな風に起」やつかな……何か」うしてほし」とかある……?」

左耳囁き

( akr\_0310 ) あかり「…………黙ってたら、あかりのしたじょひしわやいみー。」  
( akr\_0311 ) あかり「あかりね…………最初の頃と比べたら、キスが上手くなつたと  
思うの…………おじさんにたくさん気持ちいいキス教えて  
わらったから…………」

( akr\_0312) 横から「 ねえい ..... ん ..... わえい ..... ねえい ..... ベロ ..... ひわい ..... え、 ひわい ..... ねえい ..... わえい ..... わえい ..... わえい ..... ん ..... 」  
「 うわい ..... れ ..... ねえい ..... ぐロ ..... わびい ..... だのう ..... 」

( akr\_0313) 横から「んん、かわいい……はあ、やねい……むすう、んわあ……ちゅう ちゅう かわいい……はあ、ぐロ ぐロ が……」「ふれあひ ト……」「あるそひ てなれの……か」へ……きやひい、ごの……」

正面近く

( akr\_0314 ) めから「ちゅう ..... れるへ ..... せあ、 んちゅ ..... れる ..... んちゅ  
れろれろれろれろ ..... ちゅう ..... せあ、 んちゅ .....  
れろつ ..... ぴちゅ ..... ちゅう、 んちゅ .....  
はあ、 ちゅううう、 ぴちゅ ..... 」

正面近く（前ページの続き）

( akr\_0315) あかり「…………したの、ねじさん? れい めかひ、あかりの  
太ももにおちんぽ擦りつけときし……ねじり いしたいなひ、  
おトイレに行かなきやダメでしょ…………?」

左耳囁き

( akr\_0316) ねから「…………。ねちんせ、触ってほしくないわやつたのかな?  
ほい……わい」んに硬くなつてゐる……  
でも太ももを擦りつけるだけで終わり……  
手で触るのは我慢してね……」

正面近く  
(左耳から移動しながら)

( akr\_0317 ) ねから「 その分、気持がいいやべ……ん、かな……せあ、こいつは……  
しねる……んかな……かなう……なあ、れぬい……  
ん、かわい……かわい……れぬい、れわれわれぬい……」

( akr\_0318) 頭から「んわを ..... わやう ..... れれい、 はあ ..... わやう ..... んん  
はあ ..... そなに おわんせ界へ ひいて も .....  
触り合あげないよ ..... 」

( akr\_0319) あかり「あかりだつて触りたいの我慢してんだから……おじれても、がんばって我慢しないと……ね~。」

( akr\_0321) あかつ「んん……おじやん、あかつのンバ……飲んだくれねー。  
ん……ひかや、はあつ……んんつ……んんーつ……ふかひ、  
なんか……」「んな気持ち……初めて……」

( akr\_0323) あかり「あかりにツバを飲ませると……不思議な気持ちになる……もね、そんなに激しくおちんぽ擦りつけたり痛くなっちゃうよ…」

## 右耳騒ぐ

( akr\_0325) あかこ「「うな風」……「ふーふー」耳をねむくせだ」と思つてね……  
ふーふー……」(右耳騒ぎ) うわー中の耳」や……ふー

## 正面近づく

( akr\_0326) あかこ「おじやん、す「うだ」なう顔してるよ……  
カラダの力が抜けた、ふにやふにやになつたやつたね……  
なのに、おちんせは」へなに力チカチ……あかつの太ももに  
「それで、爆発しねや」しゃになつてる……」

( akr\_0327) あかこ「やんなにおちんせ触つてほし?」  
白いの、ひよひよしたくなつたやつたの?」

( akr\_0328) あかこ「ふふい……やんなに何度も頷いて、おじやんかわい、……  
最近ね、あかりおかしいの……おじやんの」と大好きだから、  
いつも優しくしたいつて思つてるの?」

( akr\_0329) あかこ「おわんせ触つてほしやう」とおじやんを見つめるね……  
なんか……大好きなの」……  
メチャクチャにしたくなつたやつ……」

( akr\_0330) あかこ「うつして」んな風に思つねやつのかな……  
おじやんは回しように思つた」とおねえ。あかこの「う……  
メチャクチャにしたやつ……」

## 左耳騒ぐ

( akr\_0331) あかこ「……おじやん、しまつたー、つて顔してたよ。やつせつ、  
やつ思つた」とおねえだ? あかりをメチャクチャにしたい  
つて考えなが、おちんせ、硬くしてたの? そうなの、  
おじやん?」

( akr\_0332) あかこ「でも、それは叶わないね……くす、だつてあかりの方が先に、  
おじやんをメチャクチャにしたやうから……今より、もつと  
あかりに夢中になつた……あかりの」としか考えられなく  
なつて……毎日、「んな小さな女の子にメチャクチャにされ  
たやつ……」

( akr\_0333) あかこ「ふふい……うつして」おじやんかの顔つてるの?」おじやん  
せつておじやんせ硬くしてるの……。  
いくつ押しつけてても、今日は触つてあげないよ?  
何だか、やつじう気分なの。おじやんにイシワルしたい……」

( akr\_0334) あかこ「うん……うん……おちんせ触つてほしよね。先づせかづ  
ヌルヌルがでしゃねやつてるよ。  
あかりの太ももを觸つてるのわかぬ?」

左耳壁かみのせ（前ページの続き）

( akr\_0335) あかつ「 いのマルマルが丑うしのうで……丑うしのやひをいひよしだう  
つてじう意味なんじゆいへ  
いつも、おちんせかう丑うし前まへ、いのやひう先まへせを  
焼やしてたもそね……」

( akr\_0336) あかつ「 もう我慢我慢できなこい。 イジワルなんじしぬこい。  
耳みみくぶをいひをやせせふへ。」

( akr\_0337) あかつ「 じやね……」やかうあかつうが質問しつもんするかう、やれう答こたへう  
出でてうだよ~」

( akr\_0338) あかつ「 ねじやくせ……前まへたうこ、神田かみだくとくとくななのので  
働はたくののと、あかつうおねぐうせ触ふいうやういうわを選えらぶ~」

( akr\_0339) あかつ「 .....ん~ 声こゑがふやへへ、闇くろいいべなないいだよ~。  
わいわいと、ねういいもなな瓶びんで……」

( akr\_0340) あかつ「 働はただうの~ ねぐうせ、體からいうせふ~」

( akr\_0341) あかつ「 太ふくらもむむに擦こすりうたういいるるだけうここややわからわからなないいよ~。  
ねうべ、じうううかか。 今いまからから働はたきににあたういい。 ねぐうせかか、  
ひうりうりうししたたいい~」

正面近ちかく（移動うつしながら）

( akr\_0342) あかつ「 .....くす、働はただうはないいいんだう。 もう一いつ度ど、あかつうの田たを  
見みてうかかてうみうてう? 働はただうはないいいんだうよ~。  
ねぐうせ、触ふいうてうほしほしいいんだうよ~」

右耳壁うみのせ

( akr\_0343) あかつ「 あーあ、ねじやくダメダメになないいんだう。 もう一いつ度ど、働はたかかないいいだう。」

( akr\_0344) あかつ「 正面まへに答こたへうくれたかう……イジワルうせ~」もどもどここしてう……  
今度いまは、ねじやくのねぐうせをイジメうてうあざあざるうね~」

( akr\_0345) あかつ「 今いまは、體からを後うしろに逃にがはしてもダメダメ……今日きのうのあかつうせ  
優すぐくなくなよ~。 逃にがはしてもダメダメ、」うるるななに嬉うれしきしきに  
跳はねねるるじじやや~」

( akr\_0346) あかつ「 いいつつててせせかかたたんんででししよう。 先まへせせを乱暴うらぶに  
じかじかををぐわぐわせせれるるの、好きうないだうももんんね~」

( akr\_0347) あかつ「 あかつうもういいすのの好きう。 ねじやくがおねぐうせ硬つよくくここいいくく。  
くれくれねねと、嬉うれしきしきに止とままなくなくなないいちちややう~」

## 右耳騒ぐ（前ページの続き）

( akr\_0348) あかり「 今度は太ももじやなくて、あかりの手におちんぽ押しつけて  
きて…ふふふ、す」「 す」「 そなに必死になつて  
腰を動かすの初めて見た…おじちゃん、かわいすぎて  
あかりじうにかなつちやこやつ…」

( akr\_0349) あかり「 ん……つい……見えた、おじちゃん…  
おわんぜの先、」んなに真つ赤になつてね…せむ…  
ほいほいせむ…音も」んなに大きく…  
おわんぜ、白く泡立つてきちゃつてるね…  
わいとしてほし… わいとわいと、ダメになつちやこやつ…」

( akr\_0350) あかり「 おじちゃん、かわいうな顔してる…嬉しうよね、  
ずっとじうしてほしかつたんだもんね…  
ふふり、またおわんぽお腹にピタソリになつてね…ねえ、  
見てい…せむ…ふふり、もう一回…  
おじちゃんのおわんぜ、尻氣どちゅねー…」

( akr\_0351) あかり「 まだおひきくなれる、あかり、おじちゃんがわいと  
がんぜりてるといふ見たいなあ…」

## 左耳騒ぐ（右耳からの移動しながら）

( akr\_0352) あかり「 ん……ん…あかりじつかもうじよ…「 あきるわいと  
して…ん…ん…ん、ふふ…小さな子供みたいに  
しがみついてきてかわいい…おじちゃん、」のまま  
狂つちやいなよ…また女の子みたいな声も聴きたい…」

( akr\_0353) あかり「 あかりです、出でなじようなかわいじ、お…おわんぜ、  
ぐちゅぐちゅしたじ、聴かせてくれる、」んな風に…  
ほい…おじちゃん、お…聴かせてよ…」

( akr\_0354) あかり「 んん…ん…つい…今日はかずれた声なんだね…でも、  
それも好き…あかり…興奮してきなやつた…そ…  
そろそろ出で…あかりの手にぴゅいぴゅいしてくれる、」

( akr\_0355) あかり「 手の中で熱じのが広がつてじくの…大好き…あかりの  
手でおじちゃんを感じたいの…」

( akr\_0356) あかり「 あかりがそばで見てあげるからあ…今日も元気…  
ぴゅいぴゅして？ ああ、か！」」おじちゃんの硬い…  
おつきい…ん…ん…ん…ん…おじちゃん…  
あかりに手におちんぽ押しつけたまが…  
ん…ん…ん…ん…ん…」

## 左耳醫も（前ページの続き）

( akr\_0357) あかこ「 えり、あ……ああ、丑ぐる……おわんせいか……熱い……す」「じ……ん、せあ……じわ……ひゅうびを止めた、」  
ダメ! ……すうと丑ぐる……おわんせいか丑ぐるの、」  
まだ丑ぐるよお! ……おじれとのおかぐも、何回ドモ丑ぐるよおだ!  
もんね!」

( akr\_0358) あかこ「 えんい……おわんせいか、逃がせないよ! ……  
今田はメチャクチャにするつて皿のたでしょ。」  
あ、これ……皿の塊みたいなの……指に絡みつこて……  
こつもよつ濃いの、こつせこ出でる……」

( akr\_0359) あかこ「 ふふふ、おじれんあーーーしか皿へなくなつたやつたねえ……  
皿葉を忘れちやつたのかな……それとも……まだ余話が  
でない赤ん坊さんのかな……?」

( akr\_0360) あかこ「 狂いちやえばこじよ、おじせん……おわんせメチャクチャに  
それで興奮してるんだもんね? くすぐつたいとか言つてた  
のに、気持ちよくなりかやつたんだもんね?」

( akr\_0361) あかこ「 せ、ひゅうびを止まつてきだよ! 止めないでつて  
皿のたでしょ! あかりがいいつて皿のままで、ひゅうびを  
し続けるの……えんい、えり? おわんせ壊れかやつ? ……壊れちやえばこじよえ?」

## 正面近づ（移動しながら）

( akr\_0362) あかこ「 あかりが壊してあげるよ、おじせんのおわんせ……せ、  
ほり、もつと出しつつ……ひゅうびを続けるの! ……  
えんせ、れんせ、ちゅう……えんせ、かかね、はあ……  
ベロも丑ぐり……ん、はむり、ぐだきり、ぐかか、がむる  
おわんせ壊れかやつ? ……壊れちやえばこじよえ?」

( akr\_0363) あかこ「 えねえりか、わゆうりか、かわい……せ、  
えがゆい、はあ、あふしたひ……  
おわんせ、また硬くなつらよ……ぐだきり、わゆうりか、  
おわんせ……ぐだきり、わゆうりか、ぐだきり、  
わゆうりか……」

( akr\_0364) あかこ「 むせり、はあ……んぐり……もつ無理じやなぐり……  
丑ぐの、おわんせか、みんなみーんな出すの! ……  
」つやつて……根元から、摧ればつ……んぐり、んぐり、  
んぐり……せ、あ……またひゅうびをした……おじれの  
おわんせ、すう! こねえ……かわいいねえ……」

左耳囁き

( akr\_0365) めかっ「 もうど、あかりに狂つて……今思つと働いてた頃の自分が  
バカみたいでしよう? じゃあてあんなツラい」と  
してたんだろうつて……もう、一度と働かなくて  
いいんだからね……お家でずっとおちんぽから  
ぴゅつぴゅして……一人でバカになつちやおつ……?」

( akr\_0367 ) あかり「ふふふ、ふふふ……おじさんのおかんば、ほんとに  
かわいい……もうせつたい放さないもん……」これはあかりの  
ものだよ? あかり以外には触らせちゃダメだからね?」

右耳囁き

( akr\_0368) あかざ「 せ、む……ね、く、ん、じ、せ。」

( akr\_0369 ) あかり「ふふっ……えりしね、おじれ。よくできました……  
あせりへ、少し休んだら……またひゅうひゅしようとね?」  
「一回中、頭がおかしくなるまであかりの手でえ……  
ひゅうひゅう、ひゅうひゅう、……ね?」

※トラック5へ